

# 北海道沼田町「鉄道ルネサンス構想」についてご提案

「オール北海道」で、道民が一丸となって取り組める、既存の制度のとらわれない新しい制度をご提案させていただきます。

## どのような鉄道に乗りたいのか～鉄道の現状～

自家用車の普及や、高速道路網の発達、利便性等により鉄道の利用が減少。また、利用者が減ることで減便や路線の廃止が進んでいるのが現状。地方部においては、その傾向が顕著であり、負のスパイラルに陥る。

## 地方のローカル鉄道を維持していくため～発想の転換が必要ではないか！？～

# 鉄道ルネサンス構想 ～鉄道会員制度フリーダムパスポート～

### 鉄道会員制度イメージ

会員には、全線利用可能な年間通して利用できる顔写真付き定期を発行。

#### ■利用できる曜日数で分けるプラン

##### ①フリー7（無制限プラン）

時間も制限なく毎日利用できる。通勤、通学者向け。

##### ②フリー1～5

利用できる曜日を指定することで、例えば休日だけ利用する人や、平日の出張等のみで利用する向け

#### ■利用できる時間で分けるプラン

##### ①利用時間制限なし

通勤、通学者向け。曜日の指定なし。

##### ②利用時間10：00～18：00

通勤時間帯を外した時間帯で利用できる。曜日の制限なし。

#### ■利用する対象者で分けるプラン

##### ①シルバープラン

65歳以上の方向けのプランで、さらに曜日や時間で分けることが可能

##### ②ファミリープラン

例えば2人以上のファミリー向けには、1人1人で購入する場合に比べて安価で購入が可能なプラン。さらに曜日や時間で分けることが可能とすることで、選択肢を広げる。

### （まとめ）

- ・会員制度を魅力的にするには、スケールメリットと広いネットワークが必要であり、北海道全線はうってつけの大きさ。
- ・現在の鉄道を上下分離方式により存続させても延命措置を施すだけとなり利用者は増加しない。
- ・会員数が安定してJR北海道の経営が安定するまでは、住民を巻き込むために、積極的に自治体も鉄道会員制度普及に協力
- ・ゼロカーボンやSDGsの推進に向けて、鉄道が地域輸送の大動脈となり、多くの人とモノを運び、地方のバスやトラック運送業者などを後押ししていく。

**鉄道が果たす役割は、未来に向けて非常に大きい！！**

### 利用者の利点

- 一定の会費であるため利用すればするほど割安に利用できる
- 長距離の車の運転の負担感の軽減
- JR北海道全線が乗り放題による各路線沿線への訪問の動機付け  
⇒鉄道に乗ること自体のワクワク感  
⇒道の駅のように、鉄道駅を巡る楽しみが復活

### JR北海道の利点

- 今までの距離別による運賃収入だけでなく、鉄道会員制度による会員費による増収
- 景気に左右されにくい安定収入（自動更新による会員継続）  
⇒長期会員の割引制度導入等、利用者の取り込みが容易になる
- 駅中ビジネス等による関連収入増加（JRの利用者の増加分ですらなる展開が可能）

### 自治体の利点

- 乗り降り自由なため、JRと自治体が協力し、駅を活用した魅力アップに取り組める
- 北海道全体で人流が活発になり、観光を含めて地域経済が活性化
- 年間利用可能という特性を生かしたりピーター等による関係人口の構築
- 脱炭素社会（ゼロカーボン）やSDGsの推進（車から鉄道へのモーダルシフト）